

平成23年度 北海道中学校体育大会における外部指導者（コーチ）の押さえと権限

北海道中学校体育連盟事務局

陸上競技

- ・外部コーチには競技その他にかかわる一切の制限を認めていない。

水 泳・・・※H23変更有り

- ・大会時に発行される証明書（ID）を所持し、確認できる者とする。
- ・公開練習中のみアリーナで指導を行うことができる。
- ・競技中はアリーナ外での指導とする。プールサイドでの指導はできない。
- ・監督会議への出席はできない。
- ・大会運営並びに競技に関わる抗議も一切できない。

バスケットボール

【ベンチ入りについて】

- ①外部指導者は、コーチとして登録する。
- ②コーチは、校長が認めた者とする。但し、外部指導者の場合は、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
- ③外部指導者は、引率責任者、監督、マネージャーとして登録できない。

【外部指導者の制限について】

- ①スコアシートへサインをした者が、ベンチエリア内で立ちつづけることやタイムアウトの請求などができる。したがって、外部指導者がスコアシートへサインした場合は、その試合を采配できる。
- ②代表者会議には、外部指導者は参加することができない。

サッカー

- ・ベンチには、監督、引率者、コーチの3名が入ることができる。したがって、外部指導者（コーチ）は登録された者のうち1名のみがベンチに入ることができる。
- ・監督会議には出席できない。
- ・その他は、監督会議上で確認する。

ハンドボール

- ・外部指導者は「チーム責任者」になることができない。外部指導者に認められているのは、選手へのアドバイスや過度にならない程度の指示、ケガをした選手への応急処置などである。

軟式野球

- ・背番号（29番または28番）のついたチームのユニフォームを着用し、サインを出すなど、ベンチ内で選手への指示を出すことができる。しかし、次のことを確認事項とする。
 - ①監督会議に出席できない。
 - ②審判への疑義の申し出をしてはいけない。
 - ③試合中にベンチからグラウンドに出て指導等を行ってはいけない。
 - ④監督に許されていない事を行ってはいけない。

体操競技・新体操

- ・外部指導者は、生徒の安全確保の面から、各種目における補助活動を行う。
- ・監督会議への出席は認めない。
※服装面においては、コーチとしてふさわしいものとし、ハーフパンツ（綿）、サンダル等は認めない。

バレーボール・・・※H23変更有り

【ベンチ入りについて】

- ・要項、ルールにある通りベンチに入ることができる。又、試合直前の公式練習での実技指導も可能である。

【コーチの権限について】

- ・監督に事故があった時など不在の時には、ゲームキャプテンの申し出により、その代行を行うことができる。
- ・監督会議への出席やゲーム中の異議申し立てはできない。
- ・他はルール通りの規定で実施する。

ソフトテニス

- ・ベンチには監督とともに入ることができる。
- ・外部指導者（コーチ）はチェンジサイズ（コートが入れかわるとき）と、ファイナルゲームに入る前の1分間のインターバル（休憩及びコーチを受ける時間）における選手へのコーチを行うことができる。
- ・監督会議へは、監督のみが出席する。
- ・団体戦において、アンパイヤー（審判）に対する質問ができるのは監督のみであり、外部指導者（コーチ）はできない（個人戦は一切不可）。

卓球

【ベンチ入りについて】

- ・団体戦、個人戦ともに可とする。但し、団体戦については単独では入れない。監督（教員）またはコーチ（教員）と一緒にベンチに入る。※名称をアドバイザーという

【コーチ権限について】

- ・アドバイスは可、ただし抗議権はない（団体戦については監督またはコーチ、個人戦については選手本人のみ可）

バドミントン

外部指導者（コーチ）が団体戦・個人戦ともにベンチに入ることができるようになりました。団体戦・個人戦のベンチ入りについて、監督の他には

※マネージャー又は外部指導者（コーチ）のどちらか1名がベンチ入りできる。

※マネージャーは当該学校の校長・教員又は生徒である。

なお、それにともない、外部指導者の登録並びにマナーについての周知徹底が必要になります。「外部コーチのおさえ」に準じて登録の上、マナーを守ってベンチ入りすることを遵守していただきます。

ソフトボール

- ・コーチは、事前に登録された1名のみベンチ入りができる。
- ・コーチは、試合前のノック、試合中の作戦や技術の指導ができる（声を出してもサインを出してもよい）。ただし、選手交代の通告・抗議・タイムなどを行うことはできない。
- ・コーチは、試合中にベンチから出ることはできない（タイムのときなども同様である）。
- ・また監督の代理で、監督・主将会議に出席できない。
- ・服装はユニフォームを着用し、ユニフォームナンバー（背番・胸番号）31をつける。

柔道

1. 外部指導者（コーチ）の資格を正しく確認し、トラブルを防止するため、外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）を参加申込書と一緒に実行委員会へ提出する。
2. 大会期間中の外部指導者（コーチ）は会場への入場及びコーチ席への着席を認めるが監督の代理はできない。監督会議には出席できない。コーチは審判員に準じた服装をすること。

剣道

- ・現在は、試合中における監督からの指示やサインは規則上禁止されており、応援も選手、監督含め拍手のみとなっている。従って、コーチ(外部指導者)のアドバイスや指示は不必要なので、コーチ(外部指導者)のベンチ入りは認めていません。
- ・正式な登録を受けているコーチ(外部指導者)は大会期間中、事務局が用意するコーチとわかるリボンをつけ、試合会場(試合時の選手・監督席を除く)及び練習会場に入場でき、試合の前後及び練習時に、選手に対してアドバイスのできる体制を作っている。

相撲

- ・監督会議への出席は認めない。
- ・監督のかわりに選手と一緒に土俵溜に入ることができる。ただし、選手変更等の手続きを監督のかわりに行うことは認めない。

スキー

【全種目共通】

- ・レースに対する異議申し立てができるのは監督のみとする。

【アルペン】

- ・指定された時間内で出場選手・監督と同様にインスペクション(下見)を行える

【クロカン】

- ・監督と同様にスタートエリア内に入ることができる

【ジャンプ】

- ・コーチボックスに入って出場選手に指示できる。

スケート

【スピードスケート】

- ・代表者会議には監督教員もしくは登録外部指導者(コーチ)が出席できる。ただし、登録外部指導者は質問や発言はできない。競技中はルールに従ってコーチングを行うことができる。

【フィギュアスケート】

- ・選手会には監督・選手が参加。監督会議は行わない。ベンチ内に入って指導してよい。

アイスホッケー

コーチ(外部コーチを含む)は大会規則で制限されている人数の範囲内で、監督及び選手同様にベンチ入りできる。権限については試合中、監督やマネージャーと同様に、選手に対して指示などができる。